

校長のつぶやき

校長室便り 第50号

令和2年1月30日 山内



〔奨励賞の賞状と盾〕

○大崎地域社会貢献奨励賞表彰

－3年生 岩出山小児童への読み聞かせ－

1月26日（日）吉野作造記念館にて、大崎地域社会貢献賞の表彰式が行われ、本校3年生の「子供の発達と保育」の授業の一環で、岩出山小学校の児童への読み聞かせ活動が評価され、「奨励賞」の表彰を受けました。授業担当の蘇武麻衣子先生の引率のもと、3年生の後藤理菜さんが賞状と盾をいただいてきました。大崎市の出身で政治家・思想家として大正デモクラシーのリーダーとして知られる、吉野作造の生誕142年、記念館開館25年の記念の年に、よりよい社会を目指す大崎地区の若者を表彰するものです。当日は私の元上司でもある、元県高校教育課長で現吉野作造記念館長の氏家仁先生から「民本主義と言論の自由を求めて」と題して貴重な講演をいただきました。「地域と共に」岩高はこれまでも・これからも地域と共に頑張ります。

○2年生職場体験 ー地域の皆様に感謝ー

2年生は職場体験。古川消防署、大崎市民病院、ユニクロ、TSUTAYAといった職場にお邪魔し、貴重な体験をさせていただきました。先週から今週にかけて、私もスーパーあいのや等市内を回ってみました。みんな一生懸命、生き生きとして働いていてとても頼もしく思いました。今回体験したのと同じ道に進まなくとも、この経験は今後必ず役に立つこと間違いなしです。2月に予定されている職場もあります。その時また足を運びます。

○映画ラストレター ー岩高が舞台にー

先週末、近所の映画館で17日（金）から上映されている「ラストレター」を見てきました。岩高の図書館が広瀬すずさんと神木隆之介さんのシーンで確かに使われていました。自分の学校が映画のワンシーンに映し出されているのは不思議な感覚でした。監督の岩井俊二さんが仙台出身ということで、宮城県が舞台だったと思いますが、若者のみならず、中高年やお年寄りまですべての世代の心情を読み取った素敵な作品でした。ツイッター、インスタ、ライン・・・SNS最盛期の現代ではペンと紙を用いた手紙の文化はなくなりつつあります。ラテン語の「手書き」が表すように、手紙は人間の手によって表現された文字なのです。涙で文字が滲んでいたり、緊張で文字が乱れていたりとは是非残すべき文明です。

それではこれで今月のつぶやきはお終いにします。一月は一気に終わりました、二月も逃げるように終わるかもしれません。そして去って行く3月。あれからもう九年です。一日一日を大切に。

小包を開けるといつも隅っこに厚い封筒母からの便り